

コネクテッド バッテリーで広がる IoT の社会

E-mail: a.okabe@novars.jp

乾電池で動作する製品の電池を MaBeee（マビー）と入れ替えるだけで、その製品の IoT 化が実現します。単 3 電池サイズの MaBeee の中に市販の単 4 電池を入れ、乾電池駆動製品の中に装着して専用アプリやゲートウェイとつなぐだけでセットアップは完了します。さまざまなモードで、知育やスマート玩具として活用したり、見守りに利用したりと、幅広い場面で使用できます。現在 MaBeee にはコントロールモデル、モニタリングモデル（見守り電池）の 2 モデルがあります。

① Control model

Remotely turn on / off products that move with batteries



② Monitoring model

Visualize battery usage status in cloud, alert processing, check battery level



コントロールモデルは、スマートフォンやPCなどを使って出力を自在にコントロールできるようになるIoT製品です。例えばビジュアルプログラミングソフトスクラッチを使って、PCでプログラミングした通りに、豆電球やモーターなど既存の乾電池を用いる教材のコントロールが可能となります。また、スマートフォンのアプリを用いればスマホ振る、傾ける、声を出すなどのアクションに応じて、電車や車の玩具の出力コントロールが可能となります。

モニタリングモデル（見守り電池）は、電池製品の動作状態をクラウド上でモニタリングが可能になるIoT製品です。例えばテレビやトイレのリモコンや、ガスコンロ、センサーライトなどの既存の乾電池製品の利用状態のモニタリングが可能となります。これによって独居老人の安否確認を特別なセンサー機器の設置することなく、また且つ監視されているというストレスを与えることなく、普段の生活をさりげなく見守ることが可能となります。